

令和 8 年 9 月議会

決算特別委員会資料

局別審査

(第 2 分科会・都市ブランド創造局)

1	令和 7 年度 決算総括表		2
2	令和 7 年度 一般会計決算概要について（歳入）		4
3	令和 7 年度 一般会計決算概要について（歳出）		6
4	令和 7 年度 土地取得特別会計決算概要について		7
5	令和 7 年度の主な取組みの成果について		8
6	令和 8 年度 指定管理者の評価結果について		1 9

1 令和7年度 決算総括表

一般会計

(歳入)

(単位：千円)

款	予算現額	収入済額	予算現額と収入済額との比較
17 使用料及び手数料	918,334	828,331	△ 90,003
18 国庫支出金	684,016	526,817	△ 157,199
19 県支出金	5	3	△ 2
20 財産収入	99,337	106,530	7,193
21 寄附金	191,865	120,038	△ 71,827
22 繰入金	131,447	58,679	△ 72,768
24 諸収入	306,791	122,985	△ 183,806
25 市債	4,036,100	2,858,800	△ 1,177,300
合 計	6,367,895	4,622,183	△ 1,745,712

(歳出)

(単位：千円)

款項目	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2.3.1 企画振興総務費	233,945	231,452	0	2,493
2.3.4 文化振興費	5,529,319	5,069,592	271,378	188,349
2.3.5 スポーツ振興費	3,421,426	3,200,963	36,000	184,463
2.3.6 美術館費	482,939	377,557	92,146	13,236
2.3.7 博物館費	788,737	417,562	346,300	24,875
2.9.1 繰出金	1,228	317	0	911
4.2.4 青少年費	525,864	512,268	0	13,596
8.2.1 商工業振興費	619,563	565,696	24,800	29,067
8.3.1 観光費	1,695,188	1,565,189	33,814	96,185
8.4.1 繰出金	314	313	0	1
合 計	13,298,523	11,940,909	804,438	553,176

※執行率：89.8%（支出済額／予算現額）

【翌年度繰越額を含めた執行率：95.8%（（支出済額+翌年度繰越額）／予算現額）】

特別会計

(歳 入)

(単位：千円)

区 分	予算現額	収入済額	予算現額と収入済額 との 比 較
土地取得特別会計	151,532	109,699	△ 41,833
合 計	151,532	109,699	△ 41,833

(歳 出)

(単位：千円)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
土地取得特別会計	151,532	109,699	0	41,833
合 計	151,532	109,699	0	41,833

※執行率：72.4%（支出済額／予算現額）

〈 合 計 〉

(歳 入)

(単位：千円)

予算現額	収入済額	予算現額と収入済額 との 比 較
6,519,427	4,731,882	1,787,545

(歳 出)

(単位：千円)

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,450,055	12,050,608	804,438	595,009

※執行率：89.6%（支出済額／予算現額）

【翌年度繰越額を含めた執行率：95.6%（（支出済額+翌年度繰越額）／予算現額）】

2 令和7年度 一般会計歳入決算概要について

(歳入内訳)

(単位:千円)

頁	款 項 目	予算現額 (A)	収入済額 (B)	比較(C) (B)－(A)	主な収入
22 24	17. 1. 1 総務使用料	808,333	751,102	△ 57,231	・文化施設使用料 245,299 ・スポーツ施設使用料 310,440 ・博物館使用料 168,608
24 25	17. 1. 3 子ども家庭使用料	97,927	64,285	△ 33,642	・科学館使用料 64,220
	17. 1. 7 産業経済使用料	12,074	12,944	870	・国際展示場使用料 147 ・市有地目的外使用料 12,797
30 33	18. 2. 1 総務費国庫補助金	589,849	457,284	△ 132,565	・新しい地方経済・生活環境創生交付金 162,570 ・都市構造再編集中支援事業費 106,622
32 35	18. 2. 7 産業経済費国庫補助金	94,167	69,533	△ 24,634	・新しい地方経済・生活環境創生交付金 54,445
42 43	19. 3. 1 総務費委託金	5	3	△ 2	・文化財管理保全事務費 3
44 45	20. 1. 1 財産貸付収入	54,764	62,485	7,721	・西日本総合展示場本館駐車場貸付収入 25,075 ・旧九州厚生年金会館駐車場貸付収入 23,975
	20. 1. 3 基金運用収入	2,548	2,588	40	・文化振興基金利子等 2,406
	20. 1. 5 特許権等運用収入	1,000	432	△ 568	・文学館管理著作権使用料 432
	20. 1. 6 施設命名権収入	41,025	41,025	0	・ミクニワールドスタジアム 北九州命名権収入 22,000
46 47	21. 1. 1 総務費寄附金	191,865	120,038	△ 71,827	・文化行事等寄附金 14,375 ・企業版ふるさと寄附金 105,658
50 51	22. 1. 5 市民太陽光発電所特別会計 繰入金	3,000	3,000	0	
	22. 2. 3 美術品取得基金繰入金	4,400	3,000	△ 1,400	
52 53	22. 2. 10 文化振興基金繰入金	57,750	3,384	△ 54,366	
	22. 2. 15 SDGs未来基金繰入金	17,000	0	△ 17,000	
54 55	22. 2. 20 ポートレースによる未来のまちづくり 投資基金繰入金	49,297	49,295	△ 2	・門司港地域複合公共施設整備事業(市民 会館) 49,295
56 57	24. 3. 1 総務費貸付金元利収入	25,010	10	△ 25,000	・つり銭準備貸付金収入 10
	24. 3. 5 産業経済費貸付金元利収入	5,189	5,190	1	・皿倉山登山鉄道(株)貸付元利収入 5,190

頁	款 項 目	予算現額 (A)	収入済額 (B)	比較(C) (B)－(A)	主な収入
58 59	24. 4. 1 総務費受託事業収入	56,731	0	△ 56,731	
60 61	24. 6. 3 違約金及び延納利息	0	34	34	
60 65	24. 6. 4 雑 入	219,861	117,751	△ 102,110	・文化事業収入 23,731 ・図録販売等収入 47,671
64 65	25. 1. 1 総務債	3,565,600	2,536,300	△ 1,029,300	・北九州芸術劇場改修事業 199,600 ・埋蔵文化財センター移転事業 1,394,800 ・門司港地域複合公共施設整備事業(市民 会館) 249,500 ・スポーツ施設維持改修事業 225,000 ・体育館(予定避難所)空調設備整備事業 231,600
	25. 1. 3 子ども家庭債	3,200	1,300	△ 1,900	
66 67	25. 1. 6 産業経済債	467,300	321,200	△ 146,100	・北九州国際展示場施設整備事業 164,200 ・門司港レトロ建築物老朽化対策事業 62,100 ・門司港レトロリニューアル事業(施設更 新) 36,200
	合 計	6,367,895	4,622,183	△ 1,745,712	

3 令和7年度 一般会計歳出決算概要について

(歳出内訳)

(単位:千円)

頁	区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)	主な支出
82 85	2.3.1 企画振興総務費	233,945	231,452	0	2,493	・文化的事業推進経費 231,452 (世界遺産改修事業等)
86 87	2.3.4 文化振興費	5,529,319	5,069,592	271,378	188,349	・芸術文化振興経費 110,483 ・芸術文化施設維持管理経費 1,701,006 ・文化財保護経費 1,710,074
86 89	2.3.5 スポーツ振興費	3,421,426	3,200,963	36,000	184,463	・大規模国際大会・全国大会等 スポーツ誘致・開催経費 311,336 ・スポーツ施設整備費 613,280 ・スポーツ施設維持管理経費 1,831,749
88 91	2.3.6 美術館費	482,939	377,557	92,146	13,236	・美術展開催経費 96,160 ・施設整備費 47,551 ・美術館管理運営事業費 201,737
90 91	2.3.7 博物館費	788,737	417,562	346,300	24,875	・企画展・特別展開催経費 69,013 ・博物館維持管理経費 259,053
106 107	2.9.1 繰出金	1,228	317	0	911	
132 133	4.2.4 青少年費	525,864	512,268	0	13,596	・北九州市科学館スペースLABO 運営経費 502,455
150 153	8.2.1 商工業振興費	619,563	565,696	24,800	29,067	・北九州国際展示場管理運営等 経費 499,916 ・TGC北九州2025開催事業経費 35,000
154 155	8.3.1 観光費	1,695,188	1,565,189	33,814	96,185	・門司港レトロリニューアル事業経費 140,423 ・観光施設等整備経費 85,130 ・門司港レトロ施設指定管理者制度 導入経費 362,165
156 157	8.4.1 繰出金	314	313	0	1	
合 計		13,298,523	11,940,909	804,438	553,176	

4 令和7年度 土地取得特別会計決算概要について

(歳入内訳)

(単位:千円)

頁	款 項 目	予算現額 (A)	収入済額 (B)	比較 (B)－(A)
314 315	1.2.1 不動産売払収入	149,990	109,069	△ 40,921
	2.1.1 一般会計繰入金	1,542	630	△ 912
合 計		151,532	109,699	△ 41,833

(歳出内訳)

(単位:千円)

頁	款 項 目	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)－(B)－(C)
316 317	1.2.1 繰出金	151,532	109,699	0	41,833
合 計		151,532	109,699	0	41,833

5 令和7年度の主な取組の成果について

「彩りあるまち」の実現 ～輝く個性と楽しさがあふれるまち～

1 彩りある「時」をつくる

(1)文化芸術やスポーツの振興

○ 新 キタキューまちなかアート事業 32,739千円

まちなかでの歌イベントなどに加え、次世代の鑑賞・体験機会を広げる市民活動を助成し、街のにぎわいと文化芸術の活性化を図った。

○ 優れた文化・芸術との“出会い”創造事業 6,025千円

次世代を担う子どもたちの感性を育むため、学校での箏(こと)の体験授業や放課後児童クラブ等でのコンサートなど、アウトリーチ事業による文化・芸術体験の充実を図った。

○ 北九州国際音楽祭 33,690千円

地域の音楽文化の向上を図るため、国内外のアーティストによる公演に加え、小・中学生向けの鑑賞教室や講座など多彩なプログラムを展開し、市内外の多くの人が音楽に親しむ機会を創出した。

○ 芸術文化活性化事業 83,000千円

北九州芸術劇場や響ホールの特性を活かし、多彩で良質な音楽や舞台芸術を提供することで、市内外の方々の鑑賞機会や文化芸術活動の機会の拡大を図った。

○ 芸術文化育成負担金・補助金 34,051千円

北九州市の文化水準の向上及び地域文化の振興を目的として、意欲的に活動する文化団体等の事業を助成し、市民の鑑賞・体験機会の充実や、人材育成・活動の強化につなげた。

○ 美術館企画展開催事業 89,631千円

入館者数の増加を目指し、北九州市在住の著名な作家に焦点を当てた「黒田征太郎展」をはじめとする、魅力的で多種多様なジャンルの企画展を開催した。

- ⑧いのちのたび博物館ナイトミュージアム推進事業 3,130千円
「ポップカルチャー(コスプレ)と博物館」など、異文化とコラボしたナイトミュージアムを開催した。
- 博物館企画展・特別展充実事業 69,013千円
入館者の増加につながる、大型特別展を開催し、東田地区のさらなる賑わいを創出する。また、令和7年度が昭和100年に当たることから、昭和の時代をおもちゃで振り返る企画展を開催した。
- ⑧「北九州の先端技術でカガクする」イベント開催事業 772千円
来館者に科学の面白さを伝えるため、様々な分野で活躍するロボットを研究・開発する市内の大学と連携し、先端技術のロボットを紹介する展示・体験などのイベントを開催した。
- 松本清張記念館普及・研究センター事業 9,477千円
松本清張の「人と作品」を広く紹介するため、企画展の開催、読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業を行った。また、松本清張に関する研究センター機能を果たすため、調査研究及び資料収集、研究奨励事業、研究誌の発行を行った。
- 文学館普及研究事業 14,549千円
北九州ゆかりの文学者や著名作家の業績を企画展等で紹介し、本市の文芸文化の振興を図った。
- 文学館文学賞事業 19,911千円
子どもたちの豊かな感性やありのままの気持ちを、文章を通して表現できる文学賞やこれから文壇デビューを目指す新たな文学の才能を発掘することを目的とした文学賞を実施した。
- 北九州市漫画ミュージアム普及事業 48,100千円
漫画ミュージアムの常設展示の充実及び企画展・イベント等の実施により漫画文化の普及を図った。